

From Ibigawa S A B O

今年度最後のクマタカ通信は、偶然にも第100号という節目の発行となりました。揖斐の雪化粧が徐々に薄れているこの時期、各所で施工していた工事が完成を迎えました。来週より年度が変わり気分も一新しますが、クマタカ通信をひきつづきよろしくお願ひ致します。

東日本大震災 復興への足音

3月18日に宮城県仙台市で開催された「国際砂防シンポジウム2015 in 仙台」に参加するため、仙台空港へ降り立ちました。東日本大震災発生時に、地震による津波が仙台空港をのみ込んでいく映像に、強い衝撃を受けた事が思い出されました。空港から海岸方面へ足を向けると、震災から既に4年が経過しましたが、未だに津波の影響を感じるものの、既に空港前の防潮堤は既に完成しており、現在は防災林の造成が行われていました。又、名取市内では被災市街地復興土地区画整理事業のためのダンプトラック等が頻繁に走行しており、復旧・復興への力強い足音が聞こえて来るようでした。



震災遺構として残された民家

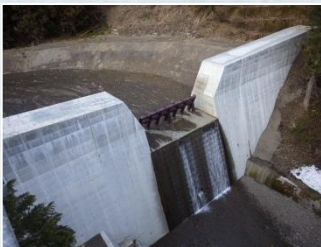


完成した防潮堤

積雪に対する工夫 =上葛谷=

本巣市根尾西板屋（ねおにしいたや）地先で工事を進めてきた根尾川流木対策工事（施工：田中建設工業㈱）の上葛谷（かみくずたに）工区は、既設の上葛谷砂防堰堤の流木を捕捉する機能を高めるために鋼製流木止めを設置し、併せて堰堤の安定化を図るため、コンクリートにより増厚する工事を、昨年度より行ってきました。

今年度の工事をもって流木対策工事が無事完成し、砂防堰堤の捕捉機能がパワーアップし、ドッシリと構えた堰堤に変身しました。



上葛谷砂防堰堤

現場技術者の声

本工事では、本堤の施工の多くが冬季の施工となりました。その上、この冬は例年と比べて降雪が非常に多く、積雪に対する現場養生や林道の除雪に大変苦労しました。経験豊富な作業員と知恵を出し合っただけでなく、現場養生や除雪の甲斐あって、無事故・無災害で工事完成を迎えることが出来ました。最後に、東・西板屋地区の方々のご理解とご協力に感謝致します。ありがとうございました。



現場代理人
田中建設工業㈱
大野 洋介さん



監理技術者
西濃建設㈱
高木 克英さん

さくら前線 上昇中

暖かい場所から徐々に桜が開花しています。この冬は12月に強い冷え込みがあり、桜の花芽が比較的スムーズに休眠から覚めたと考えられています。また、2月は気温が平年並みか少し高く推移したため、花芽が順調に成長したと考えられています。3月第2週には寒の戻りがあり、第3週は気温が高く、今週は再び気温が低い日が続いています。このため、岐阜では平年より早く、23日に開花しましたが、満開まで1週間程かかる見込みです。当事務所の管内では本巣市根尾の淡墨桜が日本さくら名所100選に選ばれており、4月上旬～中旬に満開となりそうです。



既に満開の木もあります

里山探検隊 隊員募集中!!

奥越豪雨災害から50年!

根尾白谷・徳山白谷の大崩れを知っていますか?

募集要領は [ココ](#) をクリック (事務所HPへ)

除雪に悩ませられ =和佐谷=

揖斐川町日坂（ひさか）地先で工事を進めてきた揖斐川流木対策工事（施工：西濃建設㈱）の和佐谷（わさたに）工区は、既設の和佐谷第1砂防堰堤の流木を捕捉する機能を高めるために鋼製流木止めを設置し、併せて堰堤袖部の補強を行う工事です。

今年度の工事をもって流木対策工事が無事完成し、砂防堰堤の捕捉機能がパワーアップしました。



和佐谷第1砂防堰堤

施工箇所が新川尻橋の奥（矢中谷）と日坂（和佐谷）とわかれており、工程的に同時施工しなければならず、各業者間の工程打合せに苦労しました。また例年になく積雪に見舞われ、除雪に悩まされながらの施工でしたが、協力業者さんの助力もあり、工程内に無事故・無災害にて完成できました。最後に地元の皆様や関係各所の方々のご理解ご協力に感謝申し上げます。

積雪から林道の安全確保 =寒谷=

揖斐川町坂内坂本（さかうちさかもと）地先で工事を進めてきた坂内川流木対策工事（施工：西建産業㈱）の寒谷工区は、既設の寒谷（さむたに）第1砂防堰堤に流木を捕捉する機能を高めるための鋼製流木止めを設置し、併せて堰堤袖部の補強を行う工事で、今年度予定した工事内容が完成しました。

なお、来年度も引き続き堰堤袖部の補強工事や、堆砂した土砂を掘削・搬出するための道路の設置を行い、更なる機能アップを目指します。



寒谷第1砂防堰堤

狹隘現場で工程管理に苦勞 =下谷=

揖斐川町東津汲（ひがしつくみ）地先で工事を進めてきた下谷（しもたに）第2砂防堰堤道路工事（施工：㈱ヤマモト）は、平成20年9月の西濃豪雨時に土石流が発生し、東津汲集落や国道303号に被害をもたらした下谷に、2基目の砂防堰堤を建設するために必要な、工事用道路となる林道の拡幅工事を、昨年度より行ってきました。

今年度の工事を持って林道拡幅工事は終了し、来年度以降砂防堰堤の建設に着手します。



拡幅された林道

現場技術者の声

寒谷の現場は、12月初旬から4回の豪雪に見舞われ、工程に大きな影響が出ました。坂本地区から1.8kmと比較的近い距離にありながら、狭く勾配も急な林道（資材運搬路）の安全確保に大変苦労しました。下請け業者、現場従事者が一致団結して施工し、無事工期内に完成することができました。

最後に、坂本地区の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



監理技術者
西建産業㈱
中村 栄一さん



現場代理人
㈱ヤマモト
高橋 直樹さん

今回の工事の特徴として、施工延長が長く道路幅員が狭いことにより、工程管理が大変厳しいものでした。その為、協力業者の混在するなか2箇所以上の同時作業を行うことにしましたが、工事用道路は1本しかなく幅員が狭いため、連絡調整に大変苦労しました。しかしながら協力会社の皆様とのコミュニケーションを密に計り工期内に無事完成することができたことに感謝いたします。

台風により現場が被災 =大蔵谷=

揖斐川町椋原（かしはら）地先で工事を進めてきた大蔵谷（おぞうたに）第1砂防堰堤工事（施工：西濃建設㈱）は、大蔵谷で発生する土石流を捕捉し、下流の揖斐川本川への急激な土砂供給を防止するため、鋼製透過型の砂防堰堤（H=14.5m）の建設を、昨年度から2ヶ年をかけて行ってきました。本工事をもって砂防堰堤は竣工し、地域の皆さんのくらしを守るために、活躍してくれることを期待します。

なお、来年度以降も引き続き、堰堤建設により通行が困難となった林道機能回復のための工事を行います。



大蔵谷第1砂防堰堤

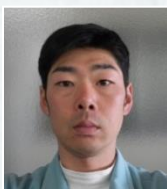
点在する小規模工事 =整備工事=

当事務所が管理する砂防施設の機能維持を維持するため、小規模な補修工事等を行う揖斐川砂防出張所管内整備工事（施工：揖斐昭和建設㈱）も、今年度に行う内容を全て終了しました。

来年度以降も引き続き、砂防施設の機能を維持するための整備を行います。



転落防止柵の補修
（ドン谷第1砂防堰堤）



主任技術者
揖斐昭和建設㈱
樋口 晃彦さん

本工事を無事完了するにあたり、作業をさせていただいた近隣住民の皆様、ご協力ありがとうございました。本工事は揖斐地区・根尾地区と広範囲にわたり行われた工事です。各作業は規模が小さく個々の作業期間は限られ、迅速に対応する必要がありましたが、無事故・無災害で工事を終えることができました。揖斐昭和建設の工事看板を見かけられましたら、声を掛けていただくと幸いです。



監理技術者
西濃建設㈱
立川 雄一さん

施工箇所は権現山の支流に当たり、崩壊地や断層がある特有の地質条件の現場でした。河川内の施工に際し水廻しを行いながら、前半は台風による災害、また後半は、幾多の積雪の中での作業という悪条件に見舞われ工程見直しに大変苦労しました。協力会社の皆様のご熱意のおかげで、工程通りに現場を進められ、無事故で完成することが出来ました。この場をお借りして、地元の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今年度は管内16カ所です砂防堰堤などの砂防施設を整備する工事や、鋼製流木止めを設置するなどの砂防堰堤の機能を高める工事、堆積した土砂を掘削し機能を回復させる工事を行ってきました。無事全ての工事が事故も無く完成しました。ご協力していただきました地域の皆様に、心より感謝申し上げます。



みっちゃん

おかげさまで「クマタカ通信」は 第100号 を発行

平成23年4月に「揖斐川砂防出張所よりお知らせ」として、当出張所管内の工事の話題を中心に出張所の業務などについて紹介する広報誌として産声を上げました。その後平成23年6月より「クマタカ通信」として名称を改め第1号が発行され、平成24年度からは、工事の話題の他に、事務所が行っている事業や防災に関すること、主催行事や広報等に関する様々な活動状況、また、地域や季節の話題を織り交ぜてお知らせする広報誌として、ほぼ毎月2号のペースで発行し、本号で100号となりました。

発行方法も、当初は事務所ホームページにアップするだけでしたが、平成24年5月からはメール配信を行うようになり、現在では300名を越える一般の方にもお届けしています。

～ 揖斐川砂防出張所よりお知らせ ～ 平成23年4月11日発行

雨降再び～危険な斜面に立ち向かう～
平成23年4月11日発行の「危険な斜面に立ち向かう」は、大雨による土砂災害の危険性を伝えるために発行された。この号では、大雨による土砂災害の危険性を伝えるために発行された。この号では、大雨による土砂災害の危険性を伝えるために発行された。

出水期対応が始まる＝八車川＝
八車川では、出水期対応が始まる。この号では、八車川の出水期対応について紹介する。

みっちゃん、下谷に現る!
みっちゃん、下谷に現る! この号では、みっちゃんの下谷に現る様子について紹介する。

クマタカ通信 ## From Ibigawa S A B O vol.100 : 平成23年6月10日発行

大谷川貫村運搬路工事の勉強会開催
大谷川貫村運搬路工事の勉強会を開催。この号では、大谷川貫村運搬路工事の勉強会について紹介する。

宇津志谷では、見学会に23人が参加!
宇津志谷では、見学会に23人が参加! この号では、宇津志谷の見学会について紹介する。

橋梁上部工がお目見え～下谷～
橋梁上部工がお目見え～下谷～ この号では、橋梁上部工のお目見えについて紹介する。

内容は機軸を握手
内容は機軸を握手 この号では、内容は機軸を握手について紹介する。

「クマタカ通信」とは・・・
「クマタカ通信」とは・・・ この号では、「クマタカ通信」とは・・・について紹介する。

クマタカ通信 ## From Ibigawa S A B O vol.17 : 平成24年2月2日発行

たいいま、大量のため・・・
たいいま、大量のため・・・ この号では、たいいま、大量のため・・・について紹介する。

特集 揖斐の山を歩いて
特集 揖斐の山を歩いて この号では、特集 揖斐の山を歩いてについて紹介する。

「揖斐川砂防出張所からのお知らせ」第1号 平成23年4月11日発行
クマタカ通信の前身のお知らせは 全部で4号発行されました。

「クマタカ通信」第1号 平成23年6月10日発行
記念すべき第1号。発行当初はとてもカラフルな色使いでした。

「クマタカ通信」第17号 平成24年2月2日発行
第17号から縦版に変更されました。

「クマタカ通信」の画像をクリックすると、PDFをダウンロードすることができます。また、過去に発行した「クマタカ通信」は事務所のホームページで見ることができます。ココをクリックしていただければ、事務所ホームページに移動します。これからも親しまれる誌面づくりを心がけてまいります。今後とも「クマタカ通信」をもよろしくお祈いします。



みっちゃん

クマタカ通信 ## vol.13 : 平成24年4月1日発行 From Ibigawa S A B O

土砂災害防止月(6月1日～6月30日)～日頃の備え・まめ心の確認です～

土砂災害防止月(6月1日～6月30日)～日頃の備え・まめ心の確認です～

土砂災害防止月(6月1日～6月30日)～日頃の備え・まめ心の確認です～

クマタカ通信 ## vol.10 : 平成25年4月24日発行 From Ibigawa S A B O

砂防施設の安全利用と関係

砂防施設の安全利用と関係

砂防施設の安全利用と関係

クマタカ通信 ## vol.75 : 平成26年3月26日発行 From Ibigawa S A B O

深溝川橋梁を築るために 上り管

深溝川橋梁を築るために 上り管

深溝川橋梁を築るために 上り管

クマタカ通信 ## vol.83 : 平成26年7月23日発行 From Ibigawa S A B O

管内での避難訓練 避難訓練が実施

管内での避難訓練 避難訓練が実施

管内での避難訓練 避難訓練が実施

「クマタカ通信」第25号 平成24年6月1日発行
第25号は土砂災害防止月間特別号として発行されました。

「クマタカ通信」第50号 平成25年4月24日発行
工事の話題や、揖斐川流域の季節の話題もお伝えしました。

「クマタカ通信」第75号 平成26年3月26日発行
工事が完成するにあたり、現場を担当した技術者の感想もお伝えしました。

「クマタカ通信」第83号 平成26年7月23日発行
第83号では台風8号の管内の被害状況などを速報しました。